

トピックス調査レポート

Vol. 8

勉強のこと、どう思う？

「勉強」は、将来のために必要な‘修行’。
学びたいことは、教科以外にもたくさん存在。

デジタル化、多様性の重視、コロナ禍を経ての暮らしや価値観の変化…。今も昔も「勉強」が子どもたちの生活の多くを占めることに変わりはありませんが、子どもたちを取り巻く環境は変化しています。また、‘なりたい職業’にYouTuberがランクインするなど、子どもたちが思い描く未来もかつてとは少し違っているようにも見えます。今の時代の子どものために「勉強」とは、どんな存在なのでしょう。今回は、「勉強」に関する実態と気持ちのリアルを探ってみました。

博報堂教育財団こども研究所は、全国の小4～中3男子女子600人を対象に、子どもをとりまくさまざまなトピックスについて調査しています。「子ども」「ことば」「教育」などに関するトピックスについて、子どもたち自身がどう感じ、考えているのかを明らかにすることを目的としています。

1 「勉強好き」より「嫌い」が多数。両者で、‘知る/解く快感’の有無に差。

- 「嫌い計※」の58%が「好き計※」の42%を上回りますが、「好き」の中には「大好き」も4%存在。小学男子では「好き計」が51%と、「嫌い」をやや上回ります。 ※大好き、好き、やや好きの計 ※※大嫌い、嫌い、やや嫌いの計
- 『理由』をみると、勉強が好きの子にとっては「新しいことを知る」ことや「解き明かす」ことへの喜びや好奇心が多く見られますが、嫌いな子にとっては「やらされている」と感じたり、「わからない」の壁にぶち当たること、「面倒くさい」存在となっていくようです。また教科やその時の理解度によって「好き嫌いが変わる」といった声もありました。

2 勉強する理由は「みんながやっている」「やっておいて損はない」から。

- 『勉強する理由』は、全体でみると「みんながやっていること」が78%とトップ、「やっておいて損はない」が70%と2番目に続きます。
- 3番目には、小学生では「自分に自信が持てる」が67%がランクイン。中学生では「いい学校に入る」「いい職業につく」といった具体的な目標が入ってきます。「なぜ勉強するのかわからない」という声も60%近く存在しました。

3 勉強は「学校で」が基本。自宅学習ではデジタル系が存在感を増す。

- 『勉強方法』は、『利用』『役立つ』ともに全体では「学校の授業(64.8%/50.3%)」「学校の先生(60.3%/42.8%)」が抜きんでていて、学校の存在の大きさがうかがえます。加えて、小学生では「親」が、中学生では「塾」の存在感が増します。 ※(利用%/役立つ計%)
- 自宅学習のツールとして、『利用』では「参考書(16.5%)」と「学習アプリ(16.2%)」が並び、『役立つ』では、「アプリ」が若干ながら上回り、「学習系動画」もそれに続きます。また、「インターネットの検索」は、『利用』で30%近いスコアです。

4 勉強に使うパワーは、全パワーの半分。勉強＝大変だけど、将来に向けて必要な‘修行’！

- 『勉強に使うパワー』の平均値は「50%」。割合でみても、全体の6割弱の子どもが「パワーの半分以上を勉強に注いでいると感じている」という結果です。使うパワーの平均は、小学生より中学生の方がやや高くなる傾向でした。(小学生=48.7%⇄中学生=51.3%)
- 『勉強とは何か』を聴くと、「将来のために必要なこと」というのが中心にくるようです。それを「修行」等の言葉で語られるコメントが見られ、そこには「自分を成長させるもの」というポジな気持ちが存在する一方、「義務感」や「しんどさ」も感じているようです。

5 一番の悩みは「やる気」の問題。自分なりの様々な工夫で対応！

- 『勉強の悩み』は、「やる気が続かない(42.0%)」「やる気が起きない(35.7%)」という、‘やる気問題’が上位に。中学生女子では、やる気が「続かない」ことより「起きない」ことが最大の悩みとなっています。
- 「やる気」対策の工夫は、「集中できなかったら無理せず休憩」が45.5%と一歩抜きんでていて、そこに「勉強する環境(静かな場所or人のいる場所)」が続きますが、「好きな飲み物、食べ物を用意」など、自らテンションをあげるような工夫も見受けられました。

6 『あったらいいと思う授業』は教科だけに留まらない人生の様々なこと。

- 『今はないけどあったらいいと思う授業』は、小学生では「スポーツ選手にスポーツのこと」「YouTuberにYouTube」という素直な回答も返ってきますが、それは中学生でなりを潜め、代りに「苦手の克服法」という現実的な話が登場します。
- 中学生では「自己管理の術」を求める声が多く聴かれ、学びたい相手としてアスリートが多くあげられているのが特徴的です。
- また「仕事のリアル」や「お金のこと」など、これからの人生を歩む上での‘実社会’についての学びへの欲求もうかがえました。

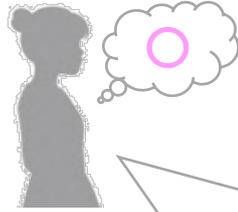
7 心に残るのは‘驚き’‘共感’を伴うような、自分事化できる学び。

- 『この一年の最大の学び』をみると、小中学生ともに「勉強」に関することが多くあげられていますが、その観点として、ただ新しい知識を得たということだけでなく、驚いたり共感したり、身の回りに存在する物事が腑に落ちる(なるほど！と感じる)経験に『学び』を感じている様子が見えます。
- また、「友情」「連帯感」「恋愛」など、自身の身の回りで起きた実体験を通して、子どもたちの心動くものが教科以外にも『学び』であることが透けて見えます。

「勉強好き」より「嫌い」が多数。 両者で、「知る/解く快感」の有無に差。

Q. あなたが勉強が好き/嫌いな理由は何ですか？

「勉強が好き」
な理由



純粋なワクワク感

- 社会とか、理科の実験が楽しい。(小4男子)
- 算数が楽しい。授業が面白い。(小5男子)

知らないことを知る喜び

- 知らない事を知るのが面白いから。解いた事の無い算数の問題を解くのが楽しいから。(小4男子)
- 新しいことを考えたり覚えたり調べることが好きだからです。(小5男子)
- 知的好奇心が高いからだと思います。(中2女子)
- 発見があるから面白い。(中2女子)

解けた瞬間の快感

- 難しい問題ができたらうれしいから。(小5女子)
- 問題が解ける瞬間が楽しい。(小6男子)
- 問題を解くのが楽しい。(小6女子)

知識が深まることへの充足感

- 分からない問題があった時、参考書などで調べてなぜそうなるのか理解出来て解けるようになった時がすごく嬉しいという達成感があるから。(中1女子)
- 数学や物理は昨日までできなかった問題がとけるようになるから。歴史は今まで知っていたことがだんだんつながっていくから。(中1男子)

苦手を克服できたときの満足感

- 苦手な教科をなくすため勉強していたら好きになった。(小6女子)
- 分からなかったことが、分かるようになることが嬉しい。難しい問題が解けた時に達成感がある。(中3女子)

「結果」がついてきたときの達成感

- テストでいい点が取れると嬉しい。(小6男子)
- やればやるだけ成績が上がるから。(中2男子)
- 得意な科目で成績良かったら嬉しい。(中2女子)
- 成績が良いと嬉しいから。(中2女子)

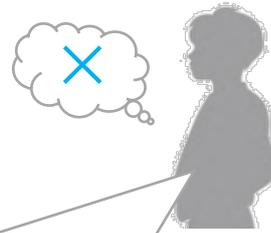
その他

- 頭がいいから楽しんでしている。(小4女子)
- 自分が強くなるから。(小5男子)
- やりたいことがあるから。(中3男子)

そもそもの「覚えること」への疑問

- 今時、何でもネットでちょっと検索したら答えが分かるのに、知識が得られるのに、なぜ、わざわざ学校行って、教科書で勉強して、テストで良い点を取らなければならないのか。それが分からないから勉強が嫌い。自由に本を読んだりYouTube見たりして、いろんなことを知るの楽しいから好き。(小5女子)

「勉強が嫌い」
な理由



つまらない

- 友達やゲームで遊んでるときの様な取り組んでいて楽しい、面白いという感覚がないので。(小4男子)
- 新しく知ることを毎回調べるのが面倒くさい。(小5男子)

興味を持ってない/必要と思えないものがある

- 楽しい教科と楽しくない教科があるから。(中2男子/女子)

果てしない「覚えるべきこと」への疲労感

- やらなきゃいけないことがたくさんありすぎてつかれる。(小5女子)
- たくさんのことを覚えるのが面倒くさいのと、計算したりするのがわからない時は苦痛だし楽しくない。(小6女子)

「難しいこと」と向き合うしんどさ

- わからない問題が出てくると考えるのに時間がかかるし、考えてもわからない時は時間が無駄に感じる。(小4女子)
- できたときの達成感や結果が良かったりして周りの人に認めてもらえると嬉しいけど、勉強に時間を取られたり、わからない問題を解くのは嫌い。(中3女子)

「結果」がついてこない虚しさ

- 最近の単元が難しいし、頑張っても良い点数が取れない。(中2男子)
- テストは嫌な感じがするので嫌い。(中2女子)

理解できない/わけがわからない

- きらいな理由は、算数が訳わからないところがあるから。(小5女子)
- 国語が嫌い。正解と思っていたのが間違いなことが多いから。(中1男子)
- 基本がわからない。(中2男子)

覚えられない/覚えるのが苦手

- 覚えるのが苦手。(中2男子) 覚えられない、(中2男子)

やらされている感/やらざるを得ない感

- やらされてるのが嫌。(小4男子)
- 将来のために大事だと思うが、理解が追い付かないので。(中1男子)

したいことを制限されるストレス

- YouTubeやテレビを見ることができないから。(小6女子)
- ゲームやスマホに夢中で後回しにしてしまう。(中1男子)

ともかく面倒くさい

- ノートを書くこと自体が面倒(小4男子)
- 字を書いたり、計算するのが面倒くさいから。(小6男子)

意義を感じない。何のためかわからない

- 面倒くさいし、やって意味があるか分からない。(中1男子)
- 社会に出て役に立たないから。もっと社会に出て重要な事があると思う。(中2男子)
- 将来何に役立つのか分からない勉強が多いから。何に役立つせれば良いかわからないから。(中3女子)

2

勉強する理由は「みんながやっている」「やっておいて損はない」から。

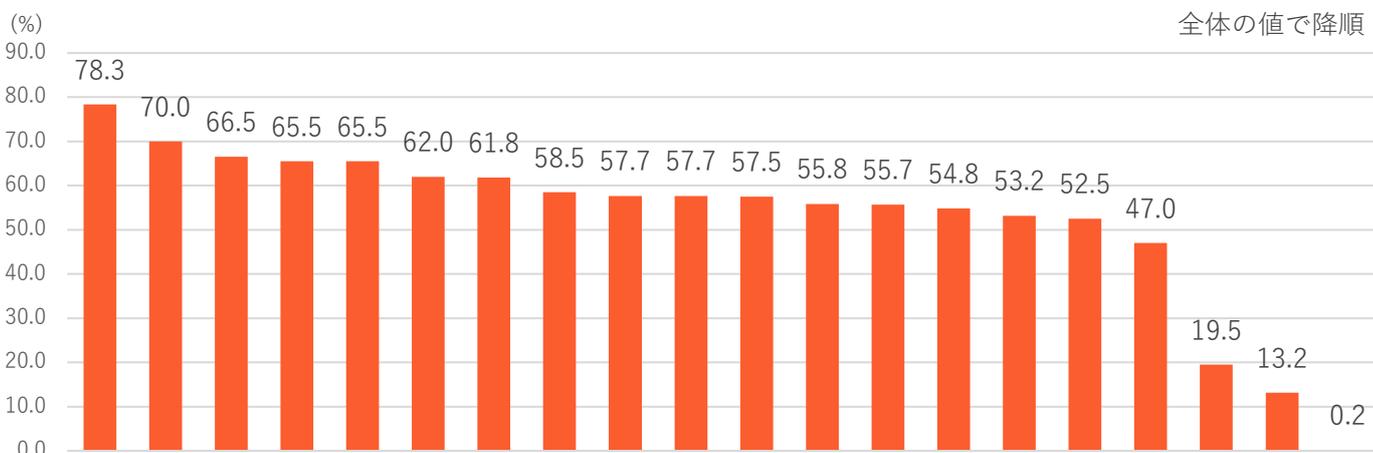
- 『勉強する理由』は、全体で見ると「みんながやっていること」が78%とトップ、「やっておいて損はない」が70%と2番目に続きます。
- 3番目に、小学生では「自分に自信が持てる」が67%でランクイン。中学生では「いい学校に入る」「いい職業につく」といった具体的な目標が入ってきます。
- 「なぜ勉強するのかわからない」という声も60%近く存在しました。

Q. あなたが勉強をするのはなぜですか？

「普段こういわれてるから」とか「世の中の的に」というのは忘れて、ホンネを聞かせてください。

■ 全体・属性別

全体の値で降順



	みんながやっていることだから	やっておいて、損はないと思う	持てるから	勉強ができる、自分に自信が	にも役立つから	将来、いい職業につきたいから	自分が成長できるから	やりとげたとき気持ちがいいから	自分の夢をかなえたい、かなえるのに必要だから	いから	親にほめられた、認められた	勉強ができないと、まわりには	かわからない	正直なところ、なぜ勉強するの	ワクワクするから	知らなかったことが知れて、	将来、いい学校に入りたいから	たいから	先生にほめられた、認められ	から	問題を解いていくことが面白い	頭の訓練になるから	友だちに負けたくないから	まわりから注目されたいから	モチたいから	無回答	
全体 (600人)	78.3	70.0	66.5	65.5	65.5	62.0	61.8	58.5	57.7	57.7	57.5	55.8	55.7	54.8	53.2	52.5	47.0	19.5	13.2	0.2							
小学生男子 (150人)	80.7	64.7	70.7	62.0	59.3	60.7	63.3	52.7	58.0	52.7	58.7	60.0	44.0	58.0	62.7	55.3	52.0	25.3	19.3	0.0							
小学生女子 (150人)	79.3	70.7	63.3	71.3	60.0	66.0	56.7	59.3	60.0	60.0	58.7	58.7	44.7	61.3	51.3	51.3	37.3	18.0	8.0	0.0							
中学生男子 (150人)	72.7	73.3	61.3	60.7	69.3	57.3	60.7	59.3	54.7	56.0	56.0	49.3	65.3	45.3	45.3	46.0	46.0	15.3	15.3	0.7							
中学生女子 (150人)	80.7	71.3	70.7	68.0	73.3	64.0	66.7	62.7	58.0	62.0	56.7	55.3	68.7	54.7	53.3	57.3	52.7	19.3	10.0	0.0							
小学生 (300人)	80.0	67.7	67.0	66.7	59.7	63.3	60.0	56.0	59.0	56.3	58.7	59.3	44.3	59.7	57.0	53.3	44.7	21.7	13.7	0.0							
中学生 (300人)	76.7	72.3	66.0	64.3	71.3	60.7	63.7	61.0	56.3	59.0	56.3	52.3	67.0	50.0	49.3	51.7	49.3	17.3	12.7	0.3							

■ 全体と比較して+10pt以上の値
 ■ 全体と比較して-5pt以上の値
■ 全体と比較して+5pt以上の値
 ■ 全体と比較して-10pt以上の値

3

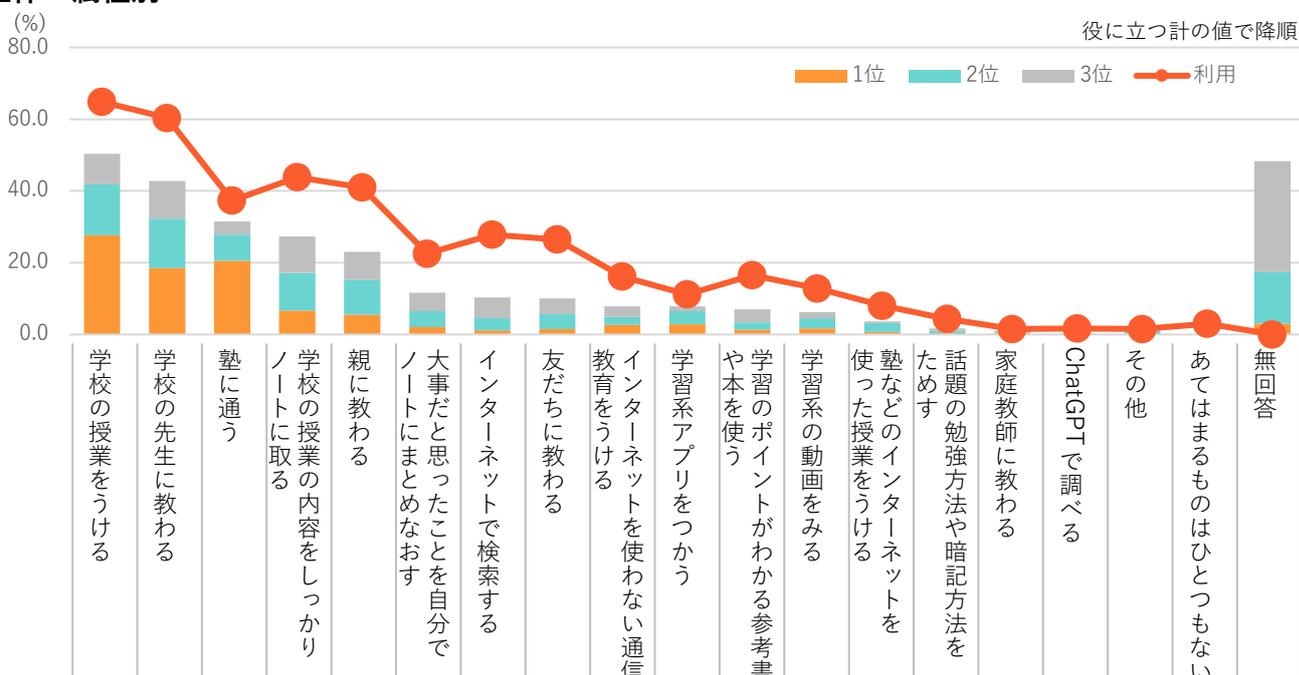
勉強は「学校で」が基本。自宅学習はでデジタル系が存在感を増す。

- 『勉強方法』を聴くと、全体では『利用』『役立つ』ともに「学校の授業（64.8%/50.3%）」「学校の先生（60.3%/42.8%）」が抜きんでいて、学校の存在の大きさがうかがえます。加えて、男女ともに小学生では「親」が、中学生では「塾」の存在感が増します。 ※（利用%/役立つ計%）
- 自宅学習のツールは、『利用』では「参考書（16.5%）」と「学習アプリ（16.2%）」が並び、『役立つ』では、「アプリ（7.8%）」、「学習系動画（6.2%）」と続きます。また、「インターネットの検索」は、『利用』で30%近いスコアとなっており、「辞書や図鑑がわり」になりつつある様子がうかがえます。
- 中学女子は少し特有で、「大事だと思ったことをノートにまとめなおす」「友達に教わる」が高かったりと、自分なりのスタイルを持っているようです。

Q. あなたは、いつもどんなやり方で「勉強」をしていますか？ …『利用』

また、利用しているものに関して、役立っていると思う順に1位から3位まで選んでください。 …『役立つ』

■ 全体・属性別



利用	属性	役に立つ計の値で降順																			
		1位	2位	3位	利用	1位	2位	3位	利用	1位	2位	3位	利用	1位	2位	3位	利用	1位	2位	3位	利用
全体(600人)		64.8	60.3	37.3	43.8	41.0	22.5	27.8	26.5	11.2	16.2	16.5	12.8	8.0	4.3	1.5	1.7	1.5	3.0	-	
小学生男子(150人)		66.0	66.0	30.7	40.7	54.7	16.0	31.3	20.0	12.7	13.3	10.7	12.0	8.0	4.7	3.3	2.0	3.3	3.3	-	
小学生女子(150人)		61.3	59.3	29.3	40.0	51.3	20.0	20.0	24.0	12.7	14.7	8.0	8.7	6.0	4.0	0.0	0.7	1.3	4.0	-	
中学生男子(150人)		65.3	52.7	42.0	38.7	22.7	19.3	24.7	27.3	8.0	18.7	22.7	14.7	7.3	3.3	2.7	0.7	1.3	1.3	-	
中学生女子(150人)		66.7	63.3	47.3	56.0	35.3	34.7	35.3	34.7	11.3	18.0	24.7	16.0	10.7	5.3	0.0	3.3	0.0	3.3	-	

役に立つ計	属性	役に立つ計の値で降順																			
		1位	2位	3位	利用	1位	2位	3位	利用	1位	2位	3位	利用	1位	2位	3位	利用	1位	2位	3位	利用
全体(600人)		50.3	42.8	31.5	27.3	23.0	11.7	10.3	10.0	7.8	7.8	7.0	6.2	3.7	1.7	1.0	0.3	1.2	-	6.5	
小学生男子(150人)		53.3	52.0	20.7	26.7	32.0	6.7	12.7	5.3	10.0	6.0	5.3	5.3	2.0	2.0	2.0	0.0	2.7	-	4.7	
小学生女子(150人)		50.0	45.3	26.0	25.3	38.7	10.0	8.7	12.0	8.0	6.7	0.7	3.3	4.0	0.7	0.0	0.7	0.7	-	6.0	
中学生男子(150人)		51.3	36.7	35.3	26.0	10.0	9.3	8.0	9.3	6.0	12.0	10.0	8.0	4.7	1.3	2.0	0.0	1.3	-	10.0	
中学生女子(150人)		46.7	37.3	44.0	31.3	11.3	20.7	12.0	13.3	7.3	6.7	12.0	8.0	4.0	2.7	0.0	0.7	0.0	-	5.3	

■ 全体と比較して+10pt以上の値
 ■ 全体と比較して-5pt以上の値
■ 全体と比較して+5pt以上の値
 ■ 全体と比較して-10pt以上の値

4

勉強に使うパワーは、全パワーの半分。 勉強＝大変だけど、将来に向けて必要な‘修行’！

- 『勉強に使うパワー』の平均値は「50%」で、割合でも、全体の6割弱の子どもが「パワーの半分以上を勉強に注いでいると感じている」という結果です。使うパワーの平均は、小学生より中学生の方がやや高くなる傾向です。（小学生＝48.7%⇔中学生＝51.3%）
- 『勉強とは何か』を聴くと、「将来のために必要なこと」というのが中心にくるようです。それを「修行」等の言葉で語られるコメントが見られましたが、そこには「自分を成長させるもの」というポジな気持ちも存在する一方、「義務感」や「しんどさ」も感じられているようです。

Q. ふだんの生活の中でしているのは、「勉強」だけではないですよね？あなたは「勉強」に対し、どのくらいの“パワー”を使っていますか？

■ 全体・小中別



Q. 「勉強」を言いかえらしたら、どんな言葉や文章がピッタリくるでしょうか？あなたの「勉強」に対するイメージを言葉にしてみてください。

■ 全体

600名のコメントをワードクラウド化

※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

- 学校に通う子どもの仕事 (中1女子)
- ご飯と同じ 毎日必要なこと (小4男子)
- 修行 面倒くさいけど、役にも立つ (小4男子)
- 将来の練習 になりたい仕事に就いた時に色々覚えていけないといけないから (小5女子)
- 将来に役立つこと 目標の仕事につきたい (中1男子)
- 人生の修行 かならずやらないといけないことだから (中1男子)
- やりたい職業につくためのもの (中1女子)
- 夢の条件 頭が良くないと将来後悔するから (小5女子)
- 修行 たえなくてはいけない (中1男子)

4

勉強に使うパワーは、全パワーの半分。 勉強 = 大変だけど、将来に向けて必要な‘修行’!

Q. 「勉強」を言いかえりしたら、どんな言葉や文章がピッタリくるでしょうか? あなたの「勉強」に対するイメージを言葉にしてみてください。

小学生

日々のルーティン/習慣

ご飯と同じ 毎日必要なこと (小4男子)

普通なこと (小4女子)

人生の大半 (小4女子)

毎日やるラジオ体操 やらないと順番を忘れてしまう (中1男子)

日課 時間割が決まっているから (中1男子)

習慣 毎日やっているから (小4女子)



新しいことの発見、学び

新しい発見 知らないことだらけ (小4男子)

なぜ解き 解いているとそう思う (小4男子)

知らないことを新しく知れる方法 勉強して「初めて知った!」って思うことがあるから (小4女子)

新しいことを知ること (小4/小5女子)

楽しいこと いろんなことを知ることが出来るから (小4女子)

知らないことを知ること (小5男子)

学び 楽しい (中1男子)

楽しみ 知識の幅が増える (中2男子)



将来のための糧

将来役立つもの 勉強したら悪いことにならない (小4男子)

将来の練習 やりたい仕事に就いた時に色々と覚えていかなければいけないから (小5女子)

未来を拓く扉 将来役に立つから (小6男子)

将来に役立つこと 目標の仕事につきたい (中1男子)

将来のため成功したい (中3男子)

大学に行く (中3男子)

良い高校に入るため (中3男子)

将来への道 好きな仕事を選択するため (小6男子)

就職率を上げる (中1男子)

夢を叶える一歩 (中2女子)

将来への修行 (中3女子)

将来裕福になるために必要 (中3女子)

生きていくために必要 お金を稼ぎたいから (小6女子)

やりたい職業につくためのもの (中1女子)

将来への投資 (小6女子)



自分を成長させるもの

大人に近づくこと 頭が成長するから (小5男子)

自分のため 自分が成長できるから (小6男子)

自立する為の力 大人になると何事も責任を伴うため (小6女子)

自分を成長させるもの 知識が増えるし自信が持てるから (中1男子)

人間形成 学ぶから (中2男子)

自己肯定感を上げるもの (中1女子)

自分を成長させてくれるもの わかるために色々努力が必要だから (中3女子)

人生を豊かにするもの 知らないことが色々な物事に繋がるから (中3男子)



自分のレベルをあげてゆくの

修行 面倒くさいけど、役に立つ (小4男子)

頭の体操 大人になったら毎日頭を使うから (小6男子)

訓練 嫌なことも面倒なこともできるようにする (小6女子)

スキルアップ (中1男子)

将来に向けての訓練 やりたい分野や研究したいことが何となくある (中3男子)

練習 うまくなるから (小4女子)

修行 千里の道も一歩から (小5女子)

毎日のトレーニング 将来の筋肉にするため (小6男子)

ゲーム レベルを上げていくと強い敵と戦うことが出来るので (中1男子)

知育系ゲーム 知識があるほど有利だと思うので (中3男子)

挑戦 (中3女子)



生活/人生に役立つもの

生活に活かせるもの 生活するうえでどこかで必要になる (小5女子)

生活の糧になること 生活していく中で知識がある方がいい (小5男子)

必要性を感じないもの あまり必要のないもの 今はネットで調べればどうにかなるから (小4女子)

よくわからない 親を見てても、生活してても、必要性がわからない。買い物も、レジが計算してくれるし、物も見ればわかる (小6女子)



やらされるもの

やらなきゃいけないこと 必要なことと言われているから (小4男子)

やらされる ママが怒るから (小5男子/女子)

しないと怒られる (小6男子)

仕事 やらないと怒られるから (小6男子)

やれと言われてやるからやっている (中1男子)

やらされる (中2女子)

褒められるためにやるもの (小5女子)

やらないといけないもの 怒られるから (小6男子)



義務、勤め

しないとだめなもの 義務教育だから (小4男子)

やららないといけないもの 義務教育だから (小6男子)

子供の仕事 (小4女子/小6男子/小6女子)

仕事 勉強した後じゃないとゲームができないから (中1男子)

義務 やらなければならないことだから (中1男子)

面倒くさい仕事 (小6女子)

人生の修行 かならずやらなければならないことだから (中1男子)

義務 やりたくてやってるわけじゃない (中3男子)



試練、耐えるもの

訓練 しんどいから (小4男子)

試練 しんどい (小5女子)

修行 我慢しないと出来ないことが多いから (小6男子)

修行 たえなくてはいけない (中1男子)

修行 つらいけど仕方ない (中2男子)

試練 辛いから (中3男子)

修行 キツイから (中3男子)

仕事 大変だから (小5女子)

ストレス (小4女子)

修行 辛いから (中1男子)

修行 辛いから (中1女子)

苦痛 (中2男子/中3女子)

我慢 (中3女子)



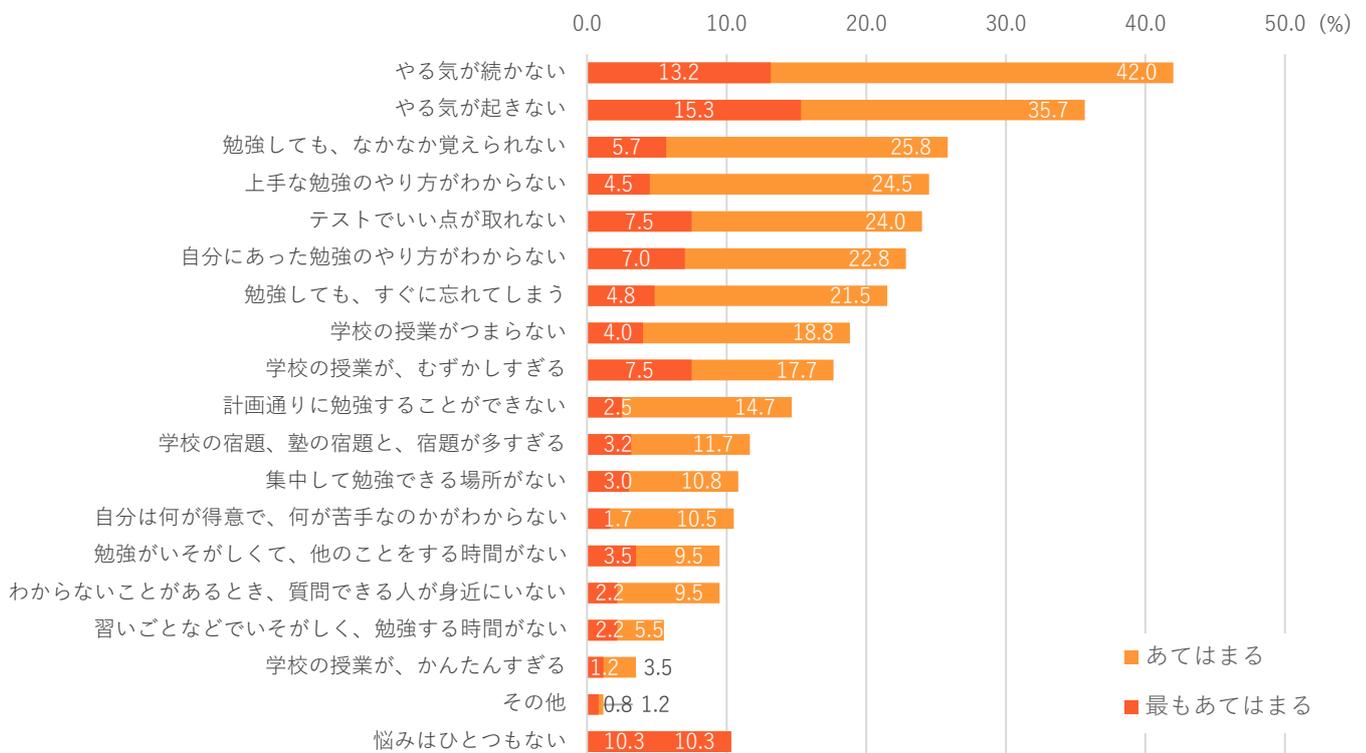
5

一番の悩みは「やる気」の問題。自分なりの様々な工夫で対応！

- 『勉強の悩み』は、「やる気が続かない（42.0%）」「やる気が起きない（35.7%）」という、‘やる気問題’が上位に来ます。（あてはまるものすべて%）また中学女子では、やる気が「続かない」ことより「起きない」ことが最大の悩みとなっています。
- 中学生では、上記に「テストでいい点が取れない（33.3%）」という悩みが上位にランクイン、女子では「計画通りに勉強することができない」というような悩みも多く聞かれました。
- 学校の授業については、「むずかしすぎる」ことよりも「つまらない」と感じる事が、悩みとして大きいようです。

Q. 「勉強」についての悩みを教えてください。 ①あてはまるものすべて ②一番の悩み

■ 全体



■ 属性別(あてあはまるものすべて)

	男子	女子
小学生	1位：やる気が続かない(38.7) 2位：やる気が起きない(32.0) 3位：覚えられない(21.3) 4位：自分に合った勉強法(21.3) 5位：上手な勉強法(21.3) ※テストでいい点(14.0)	1位：やる気が起きない(42.7) 2位：やる気が続かない(33.3) 3位：授業がつまらない(22.7) 4位：覚えられない(22.0) 5位：自分に合った勉強法(20.7) ※テストでいい点(15.3)
中学生	1位：やる気が続かない(42.0) 2位：やる気が起きない(38.7) 3位：テストでいい点(31.3) 4位：上手な勉強法(28.7) 5位：覚えられない(28.0) ※宿題が多すぎる(6.7)	1位：やる気が続かない(44.7) 2位：やる気が起きない(38.7) 3位：テストでいい点(35.3) 4位：覚えられない(32.0) 5位：すぐ忘れてしまう(28.0) ※計画通りにできない(21.3)

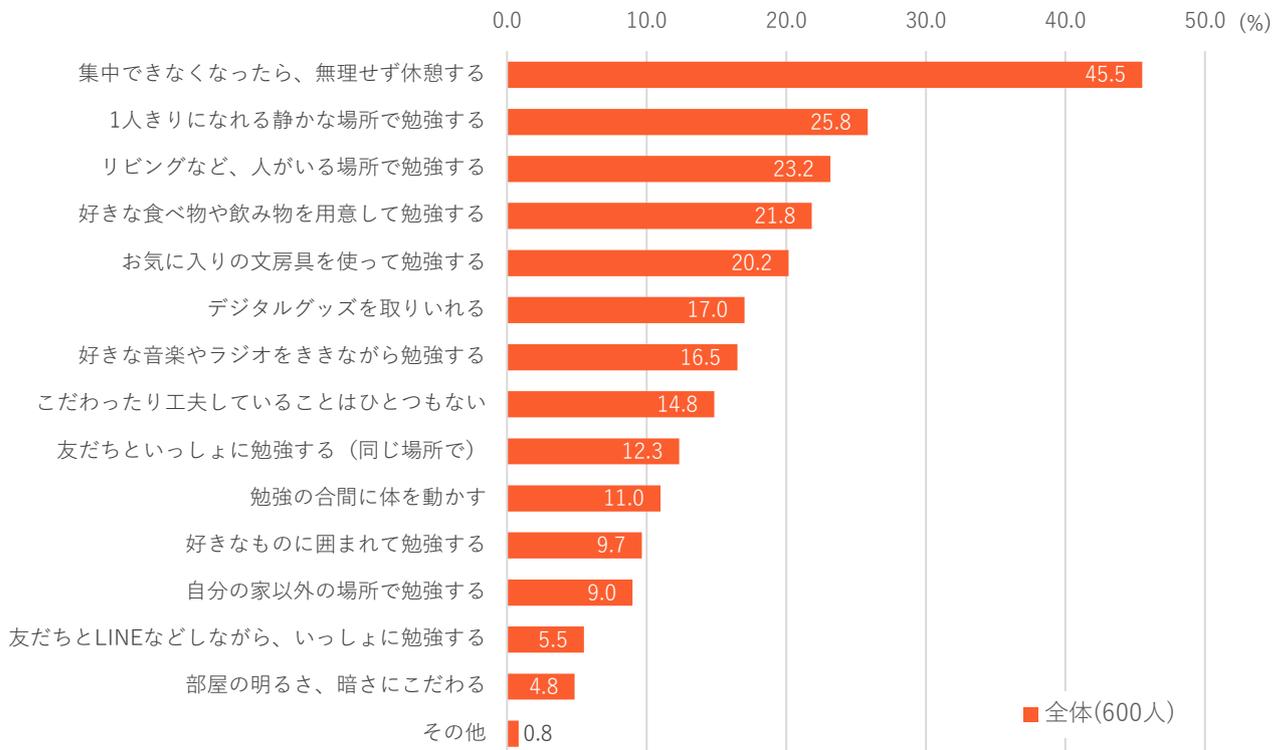
5

一番の悩みは「やる気」の問題。自分なりの様々な工夫で対応！

- 「やる気」対策の工夫は、「集中できなかつたら無理せず休憩」が45.5%と一歩抜きんでていて、「勉強する環境（静かな場所or人のいる場所）」が続きます。
- 中学女子を中心に、「好きな飲み物、食べ物を用意」や「好きな文房具」「好きな音楽」など、自らテンションをあげるような工夫も見受けられました。
- また「友達といっしょに勉強」が小学女子で、「友達とLINEなどしながら勉強」が中学女子で、全体と比べて高く、女子の中では、「誰かと繋がりながら」が工夫のひとつとなっている側面もありそうです。
- 一方、「デジタルグッズを取り入れる」というのも上位にランクイン。今や、デジタルが「やる気」を高めるツールのひとつになりつつある様子がうかがえます。

Q. 「勉強」するとき、自分をやる気にさせたり、やる気をたもつために、こだわったり工夫していることはありますか？

■ 全体



■ 属性別

	男子	女子
小学生	1位：無理せず休憩(40.0) 2位：人がいる場所で勉強(28.7) 3位：一人きりになれる場所(19.3) 4位：好きな食べ物や飲み物(18.0) 5位：お気に入りの文房具(16.0)	1位：無理せず休憩(39.3) 2位：好きな食べ物や飲み物(27.3) 3位：お気に入りの文房具(25.3) 4位：人がいる場所で勉強(24.7) 5位：一人きりになれる場所(22.7) 友達と一緒に勉強(18.0)
中学生	1位：無理せず休憩(50.7) 2位：一人きりになれる場所(24.7) 3位：人がいる場所で勉強(20.7) 4位：スマホやタブレット(18.7) 5位：好きな音楽やラジオ(16.7)	1位：無理せず休憩(52.0) 2位：一人きりになれる場所(36.7) 3位：お気に入りの文房具(28.7) 3位：好きな食べ物や飲み物(26.7) 5位：好きな音楽やラジオ(25.3) 自分の家以外の場所(14.7) 友達とLINEしながら(11.9)

6 『あったらいいと思う授業』は、教科だけに留まらない、人生の様々なこと。

- 『今はないけどあったらいいと思う授業』を聞くと、小学生では「スポーツ選手にスポーツのこと」「YouTuberにYouTube」という素直な回答も返ってきますが、それは中学生でなりを潜め、代りに「苦手の克服法」という現実的な話が登場します。
- 中学生では「自己管理の術」を求める声が多く聴かれ、学びたい相手としてアスリートが多くあげられているのが特徴的です。
- また、「仕事のリアル」や「お金のこと」など、これからの人生を歩む上での‘実社会についての学び’への欲求もうかがえました。『学びたい相手』は幅広く、また必ずしも著名人に限らず、身近な人も多くあがってきます。

Q. 「今はないけど、あったらいいな」と思う“新しい授業”を教えてください。だれに、どんなことを教わりたいと思いますか？

■ 属性別

教科に関すること

教科以外のこと

小学生男子

小学生女子

● その道のプロにその道のこと

- ・「サッカー選手」に「サッカー」(小4男子)
- ・「大谷翔平」に「野球」(小4男子)

- ・「漫画家」に「漫画の描き方」(小4男子/小5女子)

- ・「ダンスの先生」に「ダンス」(小5女子)

- ・「HIKAKIN」に「YouTube」(小4～小6 男子>女子)

- ・「ゲーマー」に「ゲーム」(小4～小6 男子>女子)

● 生き物を深く詳しく

- ・「さかなクン」に「魚/海のこと」(小4男子/小6女子)

● 芸能界

- ・「芸能人」に「芸能界のこと」(小5女子)

● 冒険・サバイバル

- ・「猟師さん」に「山での生き方」(小4男子)

● プログラミング

- ・「イロンマスク」に「プログラミング」(小4男子)
- ・「先生」に「プログラミング」(小4女子)

● 家庭科

- ・「主婦」に「料理について詳しく」(小4女子)

● 授業を面白く

- ・「HIKAKIN」に授業を「面白く」(小4男子)
- ・「YouTuber」に「普通の勉強を楽しく」(小5女子)
- ・「塾の先生」に「面白く教えてほしい」(小6男子)

● 勉強のコツ

- ・「林先生」に「東大の入り方」(小4女子)
- ・「大谷翔平」に「小学生の時の勉強方法」(小6男子)

● 歴史背景

- ・「昔の偉人」に「昔の経緯」(小4男子)
- ・「親」に「歴史」(小4男子)
- ・「歴史上の人物」に「生まれて死ぬまでの年表」(中1男子)

● 「仕事」のリアル

- ・「色々な職業の方」に「仕事のこと」(小5女子)
- ・「働いている人」に「仕事」(小6男子)
- ・「色々な仕事の人」の「生活」(中1女子)
- ・「社会の人」に「ビジネス全般」(中3男子)
- ・「専門家」に「これからの時代に合った職業」(中3女子)

● 「お金」のこと

- ・「先生」に「お金のこと」(小4女子)
- ・「Youtuber」に「お金の稼ぎ方」(小6女子)
- ・「億万長者」に「億万長者になる方法」(中1男子)
- ・「投資家」に「お金の使い方、増やし方」(中2男子)
- ・「投資家」に「投資で勝つ方法」(中3女子)

● 人生について(本当に必要なこと)

- ・「大学生」に「大学までの経緯」(小6男子/女子)
- ・「大谷翔平」に「人生」(中2男子)
- ・「おやじ」に「人生」(中2男子)
- ・「大谷翔平」に「計画性」(小5女子)

■ 共通するニーズ

● ゲーム

- ・「ゲーマー」に「ゲームの攻略」(中1～3男子)

● スポーツ

- ・「スポーツ関係者」に「体のメンテナンス」(中1男子)
- ・「なかやまきんに君」に「筋トレの仕方」(中2男子)

● プログラミング

- ・「プロ」に「プログラミング」(中1男子)

● 専門分野

- ・城郭研究(中2男子)
- ・恐竜学(中1男子)
- ・宇宙学(中1男子)

● 社会情勢、世の中のこと

- ・「池上彰」に「経済のこと」(中1男子)
- ・「先生」に「ウクライナ戦争」(中1女子)
- ・「総理大臣」に「政治」(中2男子)

● 自己管理/モチベーションUPの術

- ・「イチロー」に「メンタル学習」(中1男子)
- ・「阿部寛」に「やる気になる勉強の仕方」(中1女子)
- ・「大谷翔平」に「自己管理する方法」(中3男子)
- ・「オリンピック選手」に「困難を乗り越える方法」(中3女子)

● 苦手の克服

- ・「仲のいい先生」に「苦手な教科」(中1男子)
- ・「先生」に「成績が上がる方法」(中1女子)
- ・「教えるのが面白い人」に「覚えにくい歴史のこと」(小6女子)

● 語学

- ・「英会話」に「話せるようになりたい」(中1女子)
- ・「チャンピン」に「韓国語」(中2女子)

● アイドル

- ・「K-POPアイドル」に「推し」について(中1女子)

● ダンス

- ・「プロダンサー」に「習いたい」(中1～2女子)

中学生男子

中学生女子

心に残るのは‘驚き’‘共感’を伴う、「なるほど！」 と思える『学び』。

- 『この一年の最大の学び』をみると、小中学生ともに「勉強」に関するものが多くあげられていますが、その観点として、ただ新しい知識を得たということだけでなく、驚いたり共感したり、身の回りに存在する物事が腑に落ちる(なるほど！と感じる)経験に『学び』を感じている様子がうかがえます。
- また、「友情」「連帯感」「恋愛」など、自身の身の回りで起きた実体験を通して、子どもたちの心動くものが教科以外にも『学び』であることが透けて見えます。
- 一方で、『記憶に残る学びはない』という声も少なからず存在しました。(特に中学男子と小学女子)

Q. この1年をふりかえってみて、学んだ中で一番、心に残っていることは何ですか？記憶(きおく)に残る“ベスト1の学び”を教えてください。

属性別

小学生男子 (特になし=36人)

教科に関すること

教科以外のこと

小学生女子 (特になし=58人)

● 大人の意外性

- 先生も全部はわからないということ(小6男子)
- 学校で自分が知らなかったことが分かって、お母さんやお父さんにも教えてあげたら、二人とも知らなかったこと(小4男子)

● 努力の価値

- 社会で授業で大谷選手の目標マンダラシートを見て努力がわかった(小6男子)

● 勉強法

- 勉強するよりも寝た方が覚えやすいこと(小4男子)

● 算数/数学

- 分数が楽しく勉強できた(小4男子)
- 「商が一けたになる割り算の筆算」が意外と簡単と知れた(小4女子)
- スマホのアプリは、数学がないと成り立たない事(小6女子)
- 方程式を学んだこと(中1男子/女子)
- 数学の二次関数で世の中で以外に使われている(中1女子)
- 数学が生活に役立つこと(中2女子)

● 攻略、克服

- 図形の公式の意味が分かった(中2男子)
- 解けなかった問題が解けた(中2男子)
- 幾何の問題が解けたこと(中3男子)

● 人生のリアル

- 世の中社会に出て大事なことは協調性と思いやり。学校の勉強より投資などの勉強が今後役に立つ時代と父が言っていた。(中2男子)
- 友人に彼女が出来たこと(中2男子)
- 最後のサッカー部の大会。一生懸命に練習していたので負けた時悔しくて涙が出てきた(中3男子)

中学生男子 (特になし=63人)

● 連帯感/一体感

- 運動会。皆んなで協力して頑張って達成感があった(小4男子)
- 体育祭での6年生最後のリレー(小6女子)
- 発表したりするのが恥ずかしいけど、グループで組んで一緒に考えて話すのは楽しかった(小4男子)

● 多様な社会

- 台湾の人たちと交流(小4男子)
- 障がいがある人の体験をしたときに、どんな感じか分かったときに(小4女子)

● 家庭科

- 家庭科の調理実習で野菜の切り方や茹で方を知れた(小5男子他)

● SDGs

- リサイクルについて(小4男子)
- ゴミのリサイクルのこと(小4女子)

● 成功体験

- 黒板に行って、みんなの前で解いたこと(小4男子)
- テストで100点とったこと(小4男子)
- 塾の総合テストでいいランキングだった時(小4女子)

● 理科

- お湯で温めると体積が大きくなる(小4女子)
- 水の力でスマホを切ることができる(小5男子)
- 雲が水蒸気だということ。乗れるかと思っていたから(小5男子)
- 流れる水の働きを、砂場で実験したのがよく分かった(小5女子)
- 植物の増え方に沢山の種類がある(中1女子)
- 手足の神経からの刺激が脳に届くまで0.1秒かかること(中2男子)

● 地理/地学

- 北海道の地形。森林や酪農が盛んなところ(小4男子)
- 自分の住んでいる地域を学べた(小4男子)
- 全国の県庁所在地を覚えた(小4女子)
- カスピ海は実は湖なこと(小5男子)
- バミュエダトライアングルは磁場が狂ってて樹海と同じ(小6女子)
- エクアドルが赤道を意味する国名だったということ(中1男子)

● 歴史

- 昔の歴史(小4男子)
- 織田信長が長篠の戦いで火縄銃を使うまでは鉄砲はなかったこと(小6女子)
- 川近くにお城を建てた武将がいたが、すぐ攻撃され消滅したと聞いた。高い所にある理由がわかった(小6女子)
- 江戸時代の身分が厳しくて嫌だと思った(小6女子)
- 歴史の勉強は役に立つ(中2女子)

● 社会

- 工場見学で車を作る工程が凄かった(小5男子)
- 修学旅行に行くのに、戦争のことを勉強したとき(小6男子)
- 円高と円安の仕組みが印象に残った(小6男子)
- 国会議事堂へ行って、テレビでみた場所を実際に見た(小6男子)
- 特に太平洋戦争下での日本のこと(中1男子)
- いま起きている世界の問題のはじまり？と言える事柄。(中2女子)

● 攻略、克服

- 成績が上がってきたこと(中1男子)
- 偏差値があがった(中3女子)

● 理解体験

- 信頼している大人にとっても分かりやすく教えてもらった時にあまりにも分かりやすすぎてすごいと思った(中2女子)

● リアルな伝聞

- 戦後の生活について祖父に聞いたこと(中2女子)

● 自己実現

- ポスターコンクールで沖縄に招待されたこと(中1女子)
- 連合音楽会で指揮者賞を取ったこと(中2男子)

● 英語

- 英語が出てきた！楽しい(中1男子)
- 眠ってしまう事を英語でも「落ちる」と表現する事。日本語と同じで「そうなんだ！」と思った(中1女子)
- 英語で習ったことが外国人に通じたこと(中3女子)

● 勉強への向き合い方

- 疑問を先で先生に聞いて解くことで自信につながり、頑張ろうと元気になっていく自分を発見できたこと(中3女子)
- テスト勉強は1週間前にまとめて長時間するより、短時間でも毎日する方が成績が良いと聞いたこと(中3女子)

● 職業体験

- 職業体験で保育園に行って保育士の仕事を体験したこと(中2女子)

中学生女子 (特になし=39人)

編集後記

大人でも最近では「リスキリング」「学びなおし」と言われる中、勉強について子どもたちはどう感じ、受け止めているのか。今回の調査では勉強にまつわることを包括的に聴きましたが日々直面していることだからか、勉強に対する率直な思いが伝わってきます。

「勉強が好き」の理由には、やりたいことがある・問題を解くことが自体が楽しい・知らないことを知ることができる等の回答が多く見られ、「数学や物理は昨日までできなかった問題がとけるようになるから。歴史は今まで知っていたことがだんだんつながっていくから」「もくもくと頑張っていたら少しずつでも結果につながっていくから大好き」など、日々の取り組みの中で、知る・わかるという喜びを味わう循環が結果的に「好き」をもたらしているように見えます。また好き・嫌いとはっきり分けられるものでもなく、両者の間には「教科による」や「理解度によって異なる」などの声もありました。

勉強に対して「嫌い」「苦手」という意識を持つ理由に、「つまらない」「わからない」「やらされている感」といったキーワードが出てきます。そのような苦手意識を持つ中でも、心に残っている学びには「担任の先生から聞いた話で、昔、川の近くにお城を建てた武将がいたが、すぐ攻撃され消滅した！と聞いた。なぜ、高い所にお城があるのかよくわかった。」と授業からの学びや「勉強を通して、一人きりでやるのではなくみんなで協力することや助け合うことを学べた。一人でやるよりみんなといた方が得るものが大きかった。」とそれぞれの工夫や発見があります。

「なぜ勉強するのかわからない」という勉強そのものへの疑問が57.5%であった結果について、こどもたちから「なぜ？」を問いかけられたように感じます。その解を「自分事」として、これからの自分の学びへとつなげていくことが自分の課題に感じました。（研究員T）

調査概要

調査エリア

全国

調査対象

小4～中3 男子女子 600人

			(人)
	男子	女子	計
小学4年生	50	50	100
小学5年生	50	50	100
小学6年生	50	50	100
中学1年生	50	50	100
中学2年生	50	50	100
中学3年生	50	50	100
合計	300	300	600

調査日

2023年11月5日

調査分析

公益財団法人博報堂教育財団 こども研究所

調査方法

インターネット調査

実施集計

株式会社H.M.マーケティングリサーチ

子どもの回答にあたっては、保護者の同意のもとで行っております。